



No.1109

令和3年1月25日発行

市の取り組みやイベント情報などを発信中!



LINE



Twitter

編集 943・8601 上越市総務管理部広報対話課 新潟県上越市木田1-1-3 ☎025-526-5111 有線(JHK) ☎5111

中山間地域農業のことを知ろう

[シリーズ⑦]

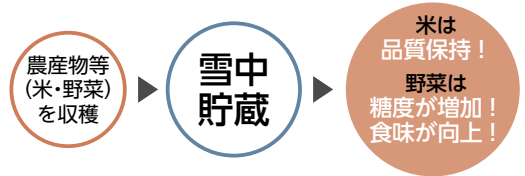
雪中貯蔵施設(雪室)をいかした農産物等の高付加価値化の取り組み

■問合せ・農村振興課 (☎025-526-5111、内線1717)

❄️ 雪中貯蔵施設(雪室)とは?

雪を蓄え、農産物や加工品などを貯蔵する「天然の冷蔵庫」

電気冷蔵庫が普及するまで、雪室は市内各地で使われてきました。雪室内部は低温かつ高湿度に保たれており、電気を使わないことから環境に優しいだけでなく、室内で貯蔵した米や野菜などは、鮮度が保たれるとともに甘みが増すなど、さまざまな効果が得られます。



❄️ 雪室の再建

新たな雪室が今年3月に誕生します

平成29年12月、安塚区^{たるだ}樽田の雪室は、改修工事中の火災事故により焼失しました。市では、新たな雪中貯蔵施設の整備について基本方針を定め、今年3月の竣工に向け整備を進めています。



◆ 雪中貯蔵施設整備の基本方針

観光対応に配慮した整備を行うことで、地域としての知名度と魅力の向上を図り、交流人口の拡大を進めるほか、雪室貯蔵のメリットを、米をはじめとする農産物等の高付加価値化やブランド化につなげ、営農条件が不利な中山間地域の所得向上を図ることで、農村地域の活性化を目指します。

■ 雪室の貯蔵効果をいかした 棚田米などの販売組織の活動

雪室の再建と並行して、令和元年10月に安塚区内の生産者などによる雪室棚田米などの販売組織「雪のふるさとライステラス安塚」が設立されました。「雪のふるさとライステラス安塚」では、ホームページの開設や商談会への参加などにより、上越産の雪室棚田米をPRしています。



公式ホームページ



商談会でのPRの様子

■ あなたも雪室を利用しませんか?

農業者の皆さん、新しい雪室を活用して、農産物の高付加価値販売に取り組んでみませんか。

▶ 使用料

単位	使用料
1パレットにつき	月額 2,750円
1カゴ台車につき	月額 1,650円

- ・農業者でない人の使用料は上記の2倍。
- ・市外在住者の使用料は上記の2倍。
- ・農業者でない市外在住者の使用料は上記の4倍。

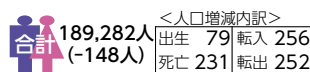
広報対話課から

(☎025-526-5111)

●「広報上越3月号」は、2月18日(☎)・19日(☎)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

令和3.1.1現在。()は前月との比較



表紙のことは：市全域で35年ぶりの大雪

年明けから続いた異常降雪により、平野部、山間部から海岸部にいたるまで市全域が雪で覆われ、雪には慣れているはずの私たちの暮らしも、大きな影響を受けました。降雪期はまだしばらく続きます。食料や燃料など、雪への備えを改めて確認いただくとともに、除雪中の事故には十分にご注意いただき、安全にお過ごしください。

UD FONT 読みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

上越市ホームページアドレス <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

☎70 (古紙パルプ配合率70%再生紙を使用)